

世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台 2023

趣 意 書

# World BOSAI Forum



**3<sup>rd</sup> March 9–12, 2023**  
**IDRC 2023 in SENDAI, JAPAN**

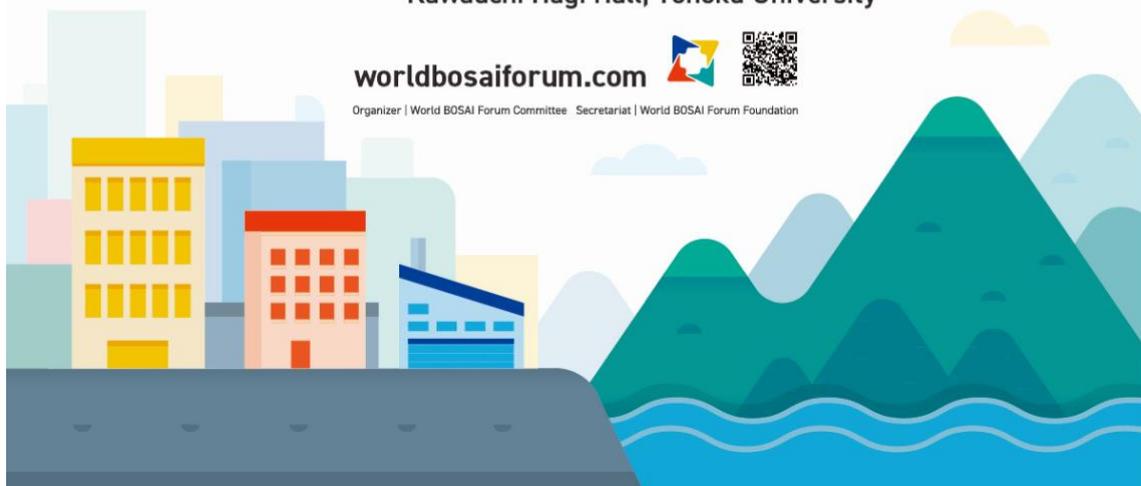
International Disaster and Risk Conference 2023, SENDAI, JAPAN

**Venue** | Sendai International Center/  
Kawauchi Hagi Hall, Tohoku University

[worldbosaiforum.com](http://worldbosaiforum.com)



Organizer | World BOSAIForum Committee Secretariat | World BOSAIForum Foundation



## ■ 趣 旨 ■

世界防災フォーラムは、東日本大震災を経験した東北の地で、災害で悲しむ人々をこれ以上増やしたくないという願いを込めて始まりました。

2015年、仙台で開催された第3回国連防災世界会議で、防災に関わる取り組みの指針である仙台防災枠組が策定されました。仙台防災枠組には、防災投資の重要性や、「より良い復興」など、日本の推進する考え方が多く取り入れられています。今後、仙台防災枠組の実施を推進することは、防災分野で世界をリードしてきた日本にとっての責務とも言えるでしょう。さらに2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災から復興への過程における日本・東北の活動は、世界から大きな関心が寄せられています。

一方、これまで、防災に関する国際会議は、国連が主体のもの、学術的な会議など世界各地で多様なイベントが実施されていますが、災害による被害を減らす具体的な解決策に着目、情報共有し、議論を行うことができる国際的な「場」はありませんでした。

そこで、災害リスク削減の解決策を、国内外、産官学民さまざまな立場から提案し、互いに学びあい、新たな価値を創造し、仙台防災枠組みを推進していく「場」をこの仙台の地に立ち上げました。それが「世界防災フォーラム」です。

第1回世界防災フォーラム（2017）では、仙台市や東北大学が中心となり、多様な関係者（国連、国際機関、政府、民間企業、メディア、NGO・市民団体、大学・研究所）が一同に介し、災害を減らす具体的な解決策を持ち寄り、情報を共有・議論しました。また新たな連携などを生み出すフィールドづくりを推進しました。

第2回世界防災フォーラム（2019）では、仙台防災枠組2015-2030におけるグローバルターゲットE（2020年までに国家・地方の防災戦略を有する国家数を大幅に増やす）の達成のための議論がなされました。よりよい復興（Build Back Better）とは何か、心の復興とは何か、また、近年深刻化する気候変動による災害にどのように対処していけばよいか、さらに、AIやIoT技術などの先進技術の防災への応用などについて議論した成果を世界に発信しました。

そして、第3回は以下の2点にフォーカスします。

1点目は、民間セクターおよび若年層により積極的に参画してもらうことです。2点目は、いくつかテーマを決めて、特に統合的・学際的なアプローチに関する企画度の高いセッションを行い、参加者の増加と交流を促すことです。世界防災フォーラムとしての防災の具体的な解決策を産官学民の対話の中から、女性や若者の視点を大切に、世界に向けて発信してまいります。

日本は世界でも有数の災害が頻発する国です。災害に備え、被害を減らす防災対策だけでなく、人が災害に遭ったあと立ち直るための、被災者のところに寄り添った支援、文化としての災害の伝承など、多くの経験と解決策を有しています。このような知見を世界に伝え、防災をリードしていく使命があります。

「世界防災フォーラム」が、多くの知恵を集約し、新たな連携を形作りながら解決策を社会に実装していくためには、多様な方々からのアイデアやリーダーシップが必要です。つきましては、本フォーラムが魅力的で実りのあるものとするために、多くの方々のご参加をお願いするとともに、皆様からのご支援を賜りたくお願いする次第でございます。

本来ならばお伺いしてお願いすべきことではございますが、本書面を借りてご高配、ご援助の程、心からお願い申し上げます。

末筆ながら皆様の一層のご発展を祈念しております。

2022年9月吉日

一般財団法人世界防災フォーラム代表理事  
東北大学災害科学国際研究所 教授 小野裕一

世界防災フォーラム国内実行委員長  
東北大学災害科学国際研究所 所長 今村文彦

## ■ 開催概要 ■

- 開催日程 2023年3月9日（木）～12日（日）
- 会場 仙台国際センター会議棟・展示棟 / 東北大学 萩ホール
- 主催 世界防災フォーラム国内実行委員会、世界防災フォーラム国際実行委員会  
（事務局：東北大学災害科学国際研究所内（一財）世界防災フォーラム）
- 後援（参考 2019実績）

外務省、文部科学省、国土交通省、内閣府、経済産業省、青森県、岩手県、NHK仙台放送局、仙台放送、TBC東北放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台総局、産経新聞社東北総局、読売新聞東北総局

- 想定参加者 登録者・関係者等 4500名程度（研究機関、国際機関、政府機関、企業、団体、NGO等の国内外の防災に関する専門家等）、他一般来場者（市民等）

※一般来場者（市民等）は一部参加できないセッションがありますが、なるべく多くのセッションに参加できるよう調整中です。

### ➤ タイムテーブル

	3月9日（木）	3月10日（金）	3月11日（土）	3月12日（日）
仙台国際センター 会議棟		オープニング	会議・セッション ポスターセッション	クロージング
仙台国際センター 展示棟			World BOSAI Expo(展示) ミニプレゼンテーション	
東北大学 萩ホール	前日祭			
サンモール一番街 (仙台市様)		レセプション		

- 連携開催 仙台防災未来フォーラム（3月4日）  
アジア防災会議（3月11日～12日）
- 2023年3月4日から13日までを復興防災Week（仮称）とし、仙台市と連携し、様々な防災イベントを実施予定です。

## ■ プログラム構成 ■

### ➤ セッション

50～500名規模の会場で行われるものとなります。いずれも1枠あたりの時間は90分を予定しています。(新型コロナウイルス感染拡大防止により会場定員の半数を想定しています。)

### ➤ ポスターセッション

テーマに沿ってポスターを募集し、合計50演題程度を会場内に掲示することを想定しています。ポスター賞も設ける予定です。

### ➤ プレゼンテーション・ミニプレゼンテーション

セッションの主催までは希望しないが、活動を発表したい方向けに、会場内にて40分もしくは15分程度のプレゼンテーションを行って頂く区画を設置予定です。30団体程度の参加予定です。

### ➤ World BOSAI EXPO (展示)

企業の活動や製品、また、フォーラムに参加する非営利組織や団体の活動を紹介する展示コーナーです。

合計65展示程度を想定しています。なお、企業の方の出展に関しては、EXPO・WEEK 出展要項 (<https://worldbosaiforum.com/2023/public/expo/>) をご覧ください。非営利セクターに関しては別途お知らせします。

### ➤ BOSAI Week

会期前にオンラインで情報を発信します。参加方法は④同様、EXPO・WEEK 出展要項をご覧ください。非営利セクターに関しては別途お知らせします。

## ■ 参加登録 ■

本フォーラムは、産官学民の団体・組織に加え一般市民が自由に参加し、自由な情報発信と議論、関係づくりができる場を目指しており、特定の財源に偏ることがない運営を心がけております。このためフォーラムの準備、企画、調整にかかる費用を、フォーラム参加者の参加登録料(一般3日間 早期割引5万円)、セッション参加団体や企業からの出展料、寄付、開催都市である仙台市からの助成で賄っております。

一方、多くの市民の方にご参加いただくことも重要だと考えており、防災を職業や専攻としない多くの市民や学生、高校生には無償参加登録の枠も設けております。

どうかご趣旨ご理解いただき、多くの方の参加登録をお願い申し上げます。参加登録は2022年9月下旬から開始予定です。

## ■ セッション主催者として参画 ■

### ➤ 概要

事務局で直接企画・運営するものを除き、参加する団体・組織にセッション主催者となつていただき、全体テーマに沿う形で企画（セッションテーマ 設定、スピーカー選定 etc.）、準備（スピーカーとの調整、特殊機材の調達 etc.）、運営を実施していただきます。一部のセッションについては広く公募し参加者を募る予定です。（10 月上旬より）

### ➤ 費用負担

セッションを開催する場合には会場費、同時通訳費用等を費用をご負担いただきます。詳細は10月上旬に公開します。別途 WEB ページをご参照ください。

また、参加者は、本フォーラムへの参加登録が必要となります。

## ■ プレゼンテーション、ミニプレゼンテーション、ポスターセッション等の参加 ■

プレゼンテーション、ミニプレゼンテーション、ポスターセッション等の参加についても公募を実施する予定です。詳細は、別途発表する WEB ページをご覧ください。なお採用に関しては審査を実施する予定です。（10 月上旬より）

また、上記の各セッションへの参加者は本フォーラムに参加登録が必要となります。

## ■ フォーラム開催までのスケジュール（予定） ■

日 程	内 容
2022 年 10 月	セッション枠登録、ポスター発表 情報公開（10 月上旬） セッション枠登録、ポスター発表 申込開始（10 月上旬） 参加者登録開始（10 月上旬）
2022 年 10 月～12 月	セッション枠登録申し込み終了（11 月 11 日） ポスター発表、ミニプレゼンテーション申込終了（12 月 26 日） 主要なセッションおよび展示企業、招聘者の確定 ポスター審査
2022 年 12 月	暫定プログラム発表
2023 年 2 月	最終プログラム発表（2 月中旬）
2023 年 3 月	参加者登録終了（3 月 9 日 12:00） 世界防災フォーラム 2023 の開催（3/9～12）

以上